

## 令和 2 年度ニホンザル管理事業実施計画の実施状況について

## (1) 各群れの計画概要

群れ名	関係市町村	R2 カウント頭数(速報) (注1)	各群れの管理の考え方	目標頭数	個体数調整目的(R2)	R2 捕獲計画数	R2 捕獲数等(速報) 2月末時点		捕獲方法	追い上げ先目標エリア
							個体数調整	加害個体等		
S	小田原市 箱根町 南足柄市	2	除去 R2 (注4)	0 頭	管理困難な 群れの除去	2 (注3)	1	0	はこわな 囲いわな くくりわな アライグマ 用わな 麻酔銃 銃器	—
H	小田原市 真鶴町	19	生息域、規模を管理	25 頭	適正配置 群れ縮小	2	1(2) (注2)	3	はこわな 銃器	白銀林道 周辺
T 1	湯河原町 真鶴町 (注5)	24	生息域、規模を管理	30 頭	適正規模 群れ縮小・ 維持	2	2	3	はこわな	天照山周 辺
P 1	湯河原町 (注5)	1	被害地の出 没減	—	—	—	—	—	—	—
ダムサイト 分裂	相模原市	9	除去 R2 (注4)	0 頭	適正配置 群れ除去	全頭	4	0	はこわな 麻酔銃 銃器 ICT わな	—
ダムサイト	相模原市 愛川町	17	生息域、規模を管理	—	適正規模 群れ縮小・ 維持	2	0	0	はこわな	南山方面
川弟 B 1	相模原市 愛川町 清川村	50	—	—	—	—	—	—	—	—
川弟 B	相模原市 愛川町 清川村	25	生息域、規模を管理	30 頭	適正規模 群れ縮小・ 維持	3	0	0	はこわな 麻酔銃 銃器	金沢林道 方面 早戸川林 道方面
川弟 A	愛川町 清川村	70	生息域、規模を管理	40 頭	適正配置 群れ縮小	10	2(2) (注2)	0	はこわな 銃器	法論堂林 道より北 側、仏果 山方面
半原	厚木市 愛川町	47	生息域、規模を管理	30 頭	適正規模 群れ縮小・ 維持	5	0	0	はこわな	経ヶ岳よ り北側
片原	厚木市 清川村	3	除去 R2 (注4)	0 頭	適正配置 群れ除去	9 (注3)	4	0	はこわな 囲いわな 麻酔銃 銃器	—
鐘ヶ嶽	厚木市 清川村 伊勢原市	21	生息域、規模を管理	20 頭	適正規模 群れ縮小・ 維持	4	3(1) (注2)	0	はこわな	鐘ヶ嶽～ 鳥屋待沢 (権現沢) 方面
経ヶ岳	厚木市	5	除去 R2 (注4)	0 頭	適正配置 群れ除去	5 (注3)	0	0	はこわな ICT わな 麻酔銃 銃器	—
煤ヶ谷	厚木市 伊勢原市	未カウント 残り 3 頭 (注6)	除去 R2 (注4)	0 頭	適正配置 群れ除去	3 (注3)	1	0	はこわな ICT わな 麻酔銃 銃器	—

群れ名	関係市町村	R2 カウント頭数(速報) (注1)	各群れの管理の考え方	目標頭数	個体数調整目的(R2)	R2 捕獲計画数	R2 捕獲数等 (速報) 2月末時点		捕獲方法	追い上げ先目標エリア
							個体数調整	加害個体等		
日向	厚木市 伊勢原市 秦野市	30	生息域、規模を管理	25 頭	適正規模群れ縮小・維持	5	3(1) (注2)	0	はこわな ICTわな 麻酔銃 銃器	(長期)大 山北斜面 (中期)猪 山作業道 薬師林道
大山	伊勢原市 秦野市	除去	除去 R2 (注4)	0 頭	適正配置群れ除去	5 (注3)	2	0	はこわな ICTわな くくりわな 麻酔銃 銃器	—
丹沢湖	山北町	31	生息域、規模を管理	30 頭	適正規模群れ縮小・維持	7	5(2) (注2)	0	はこわな	大杉山方面
K 1	相模原市 (注5)	72	生息域、規模を管理	60 頭	適正規模群れ縮小・維持	10	【8】 (注2)	0	はこわな 麻酔銃 銃器 ICTわな	県境方面
K 2	相模原市	6	除去 R3 (注4)	0 頭	適正配置群れ除去	全頭	0	0	はこわな 麻酔銃 銃器 ICTわな	小仏山地 (県境方面)
K 3	相模原市 (注5)	26	除去 R3 (注4)	0 頭	適正配置群れ除去	全頭	38【1】 (注2)	0	はこわな 麻酔銃 銃器 ICTわな	鷹取山～ 県境方面、澤井 (栃谷)～ 県境方面
K 4	相模原市 (注5)	52	生息域、規模を管理	30 頭	適正規模群れ縮小・維持	15	1	0	はこわな 麻酔銃 銃器 ICTわな	和田峠、 陣馬山 (県境方面)
川井野	相模原市 (注5)	90	県境方面へ 追い上げ	—	適正規模群れ縮小	—	—	—	—	県境方面
合計	—	600	—	320	—	—	67(8)【9】 (注2)	6	—	—

注1) カウント頭数は令和2年度生息状況調査(令和2年8月～9月に実施)による確認頭数の速報値。

注2) ( )は交通事故死数または自然死数で外数。【 】は上野原市の捕獲数で外数。

注3) 上記の頭数の他、令和2年度生息状況調査以降、出生等により増加した頭数も対象とする。

注4) 除去が完了する目標年度。

注5) 群れの行動域が他都県(東京都、静岡県、山梨県)にまたがる。

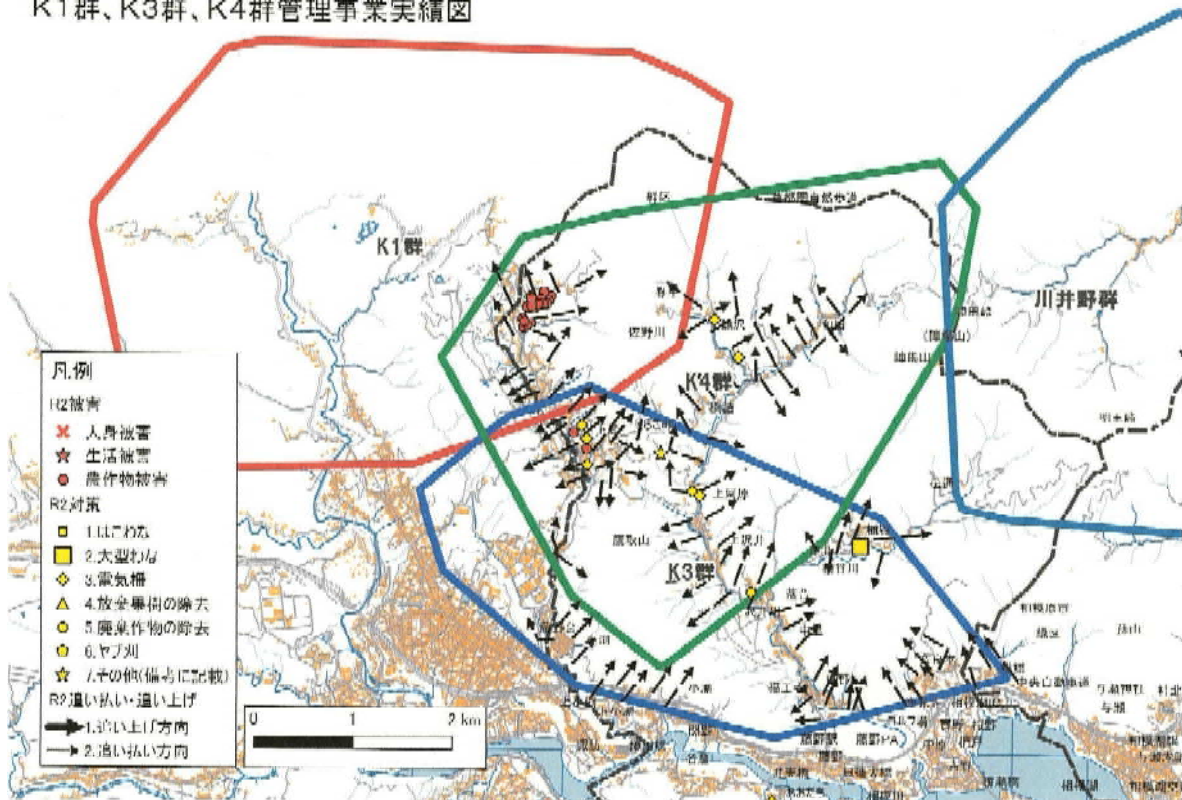
注6) 煤ヶ谷群の3頭は合計に含んでいない。頭数は厚木市からの情報。

- ・大山群は令和2年7月14日に群れの除去が完了。
- ・S群は令和2年12月9日に1頭がくくりわなにより捕獲されたことで群れの除去が完了。  
(残り1頭は10月から追い払い員等により確認されていなかったため、12月9日の捕獲をもって除去完了と判断した。)
- ・K3群は、残り2頭程度で群れの除去が目前となっている。

## (2) 各群れ実績図及び計画図

### ア 南秋川地域個体群

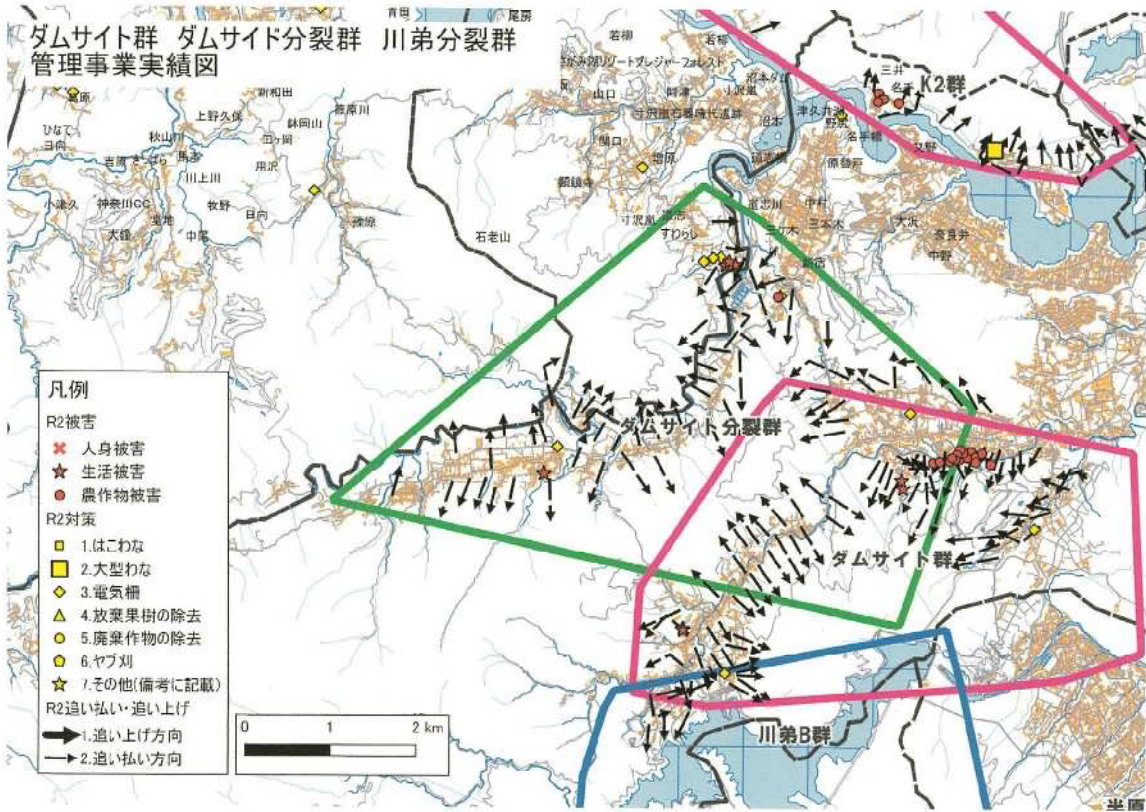
#### K1群、K3群、K4群管理事業実績図



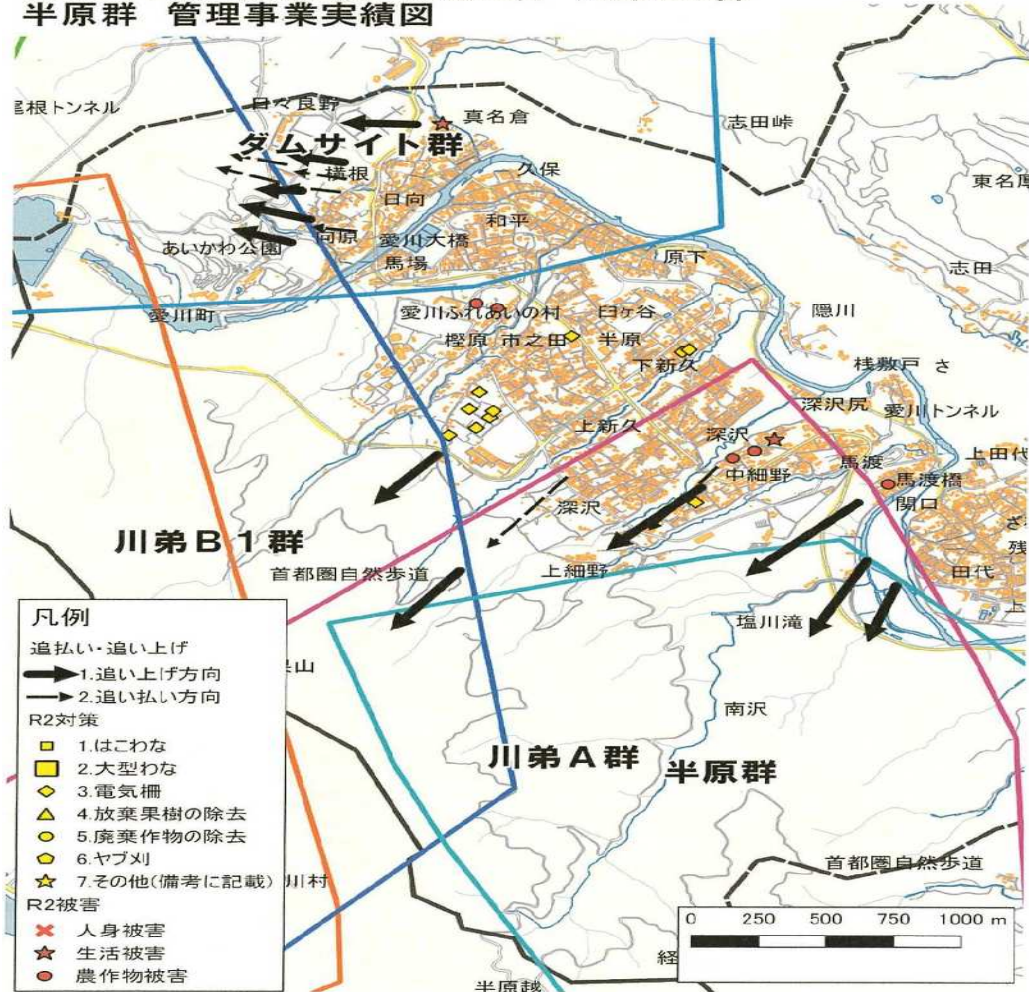
#### K2群、川井野群 管理事業実績図



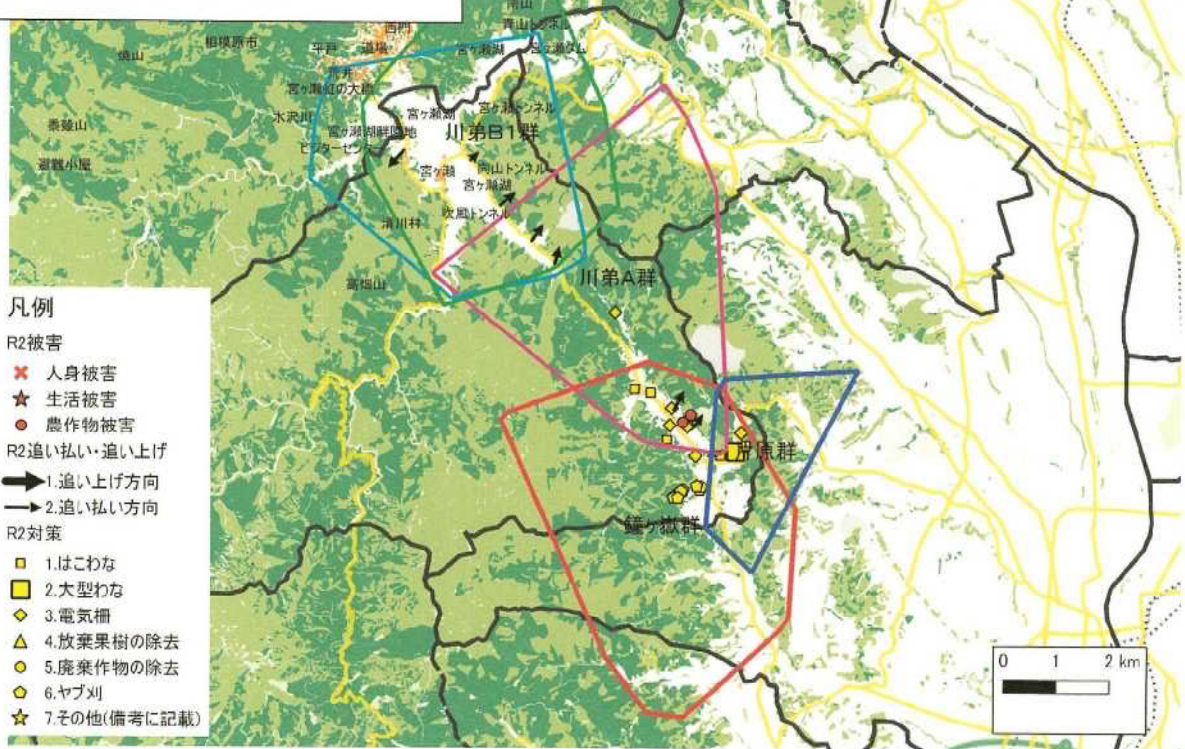
イ 丹沢地域個体群



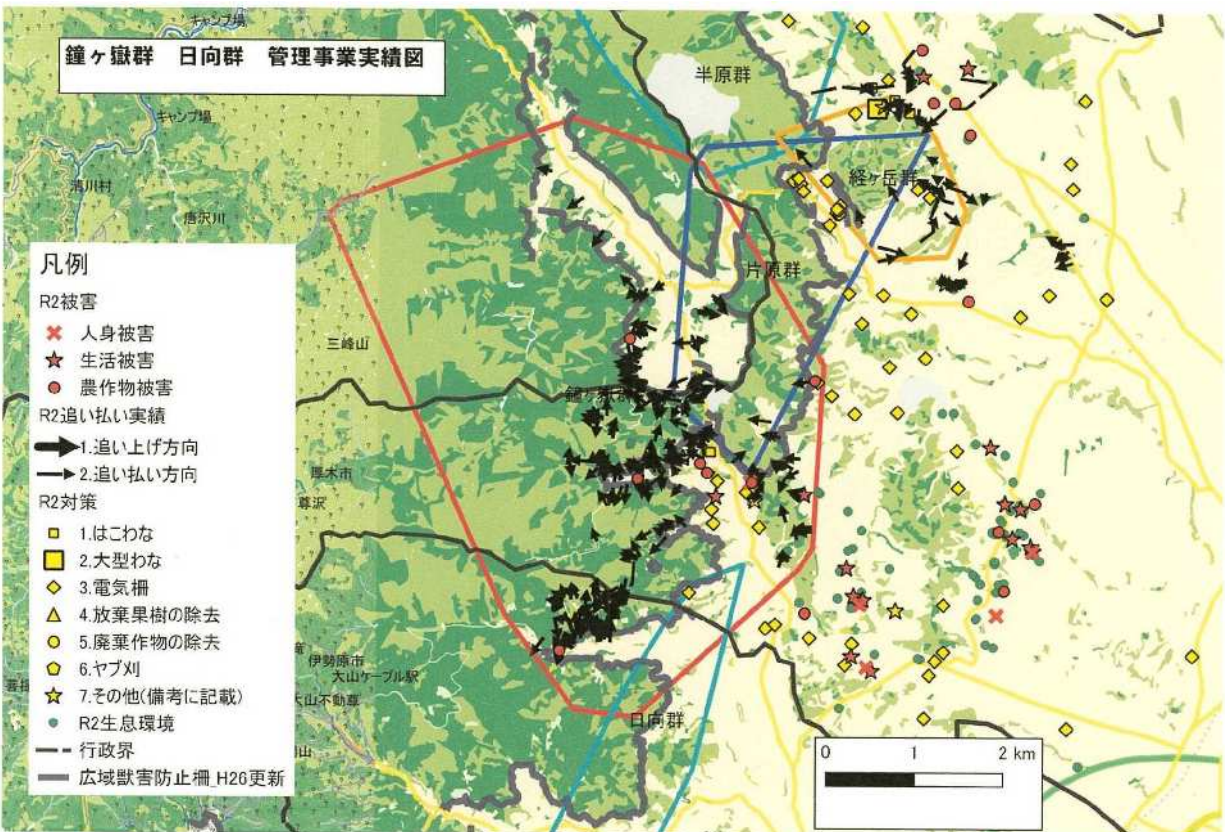
**ダムサイト群 川弟A群 川弟B群 川弟B1群  
半原群 管理事業実績図**

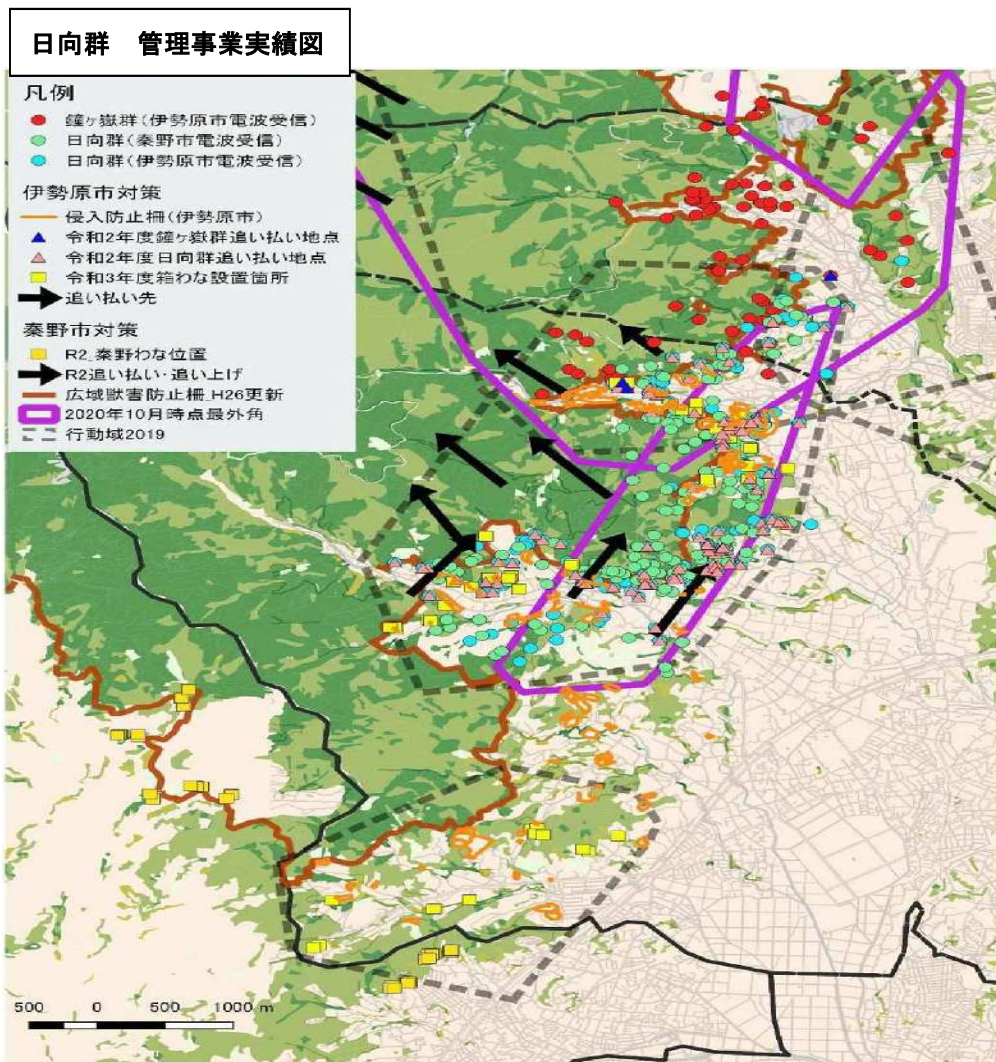
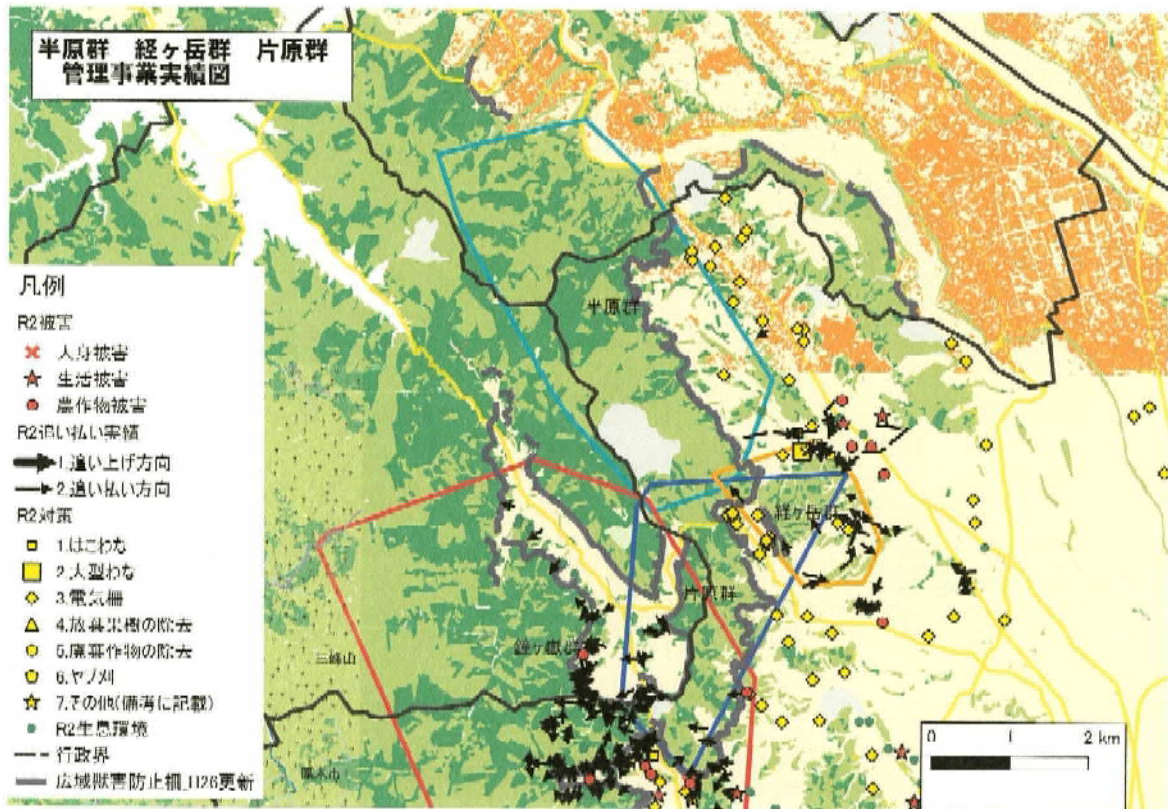


**川弟A群 川弟B群 川弟B1群 片原群  
鐘ヶ嶽群 管理事業実績図**

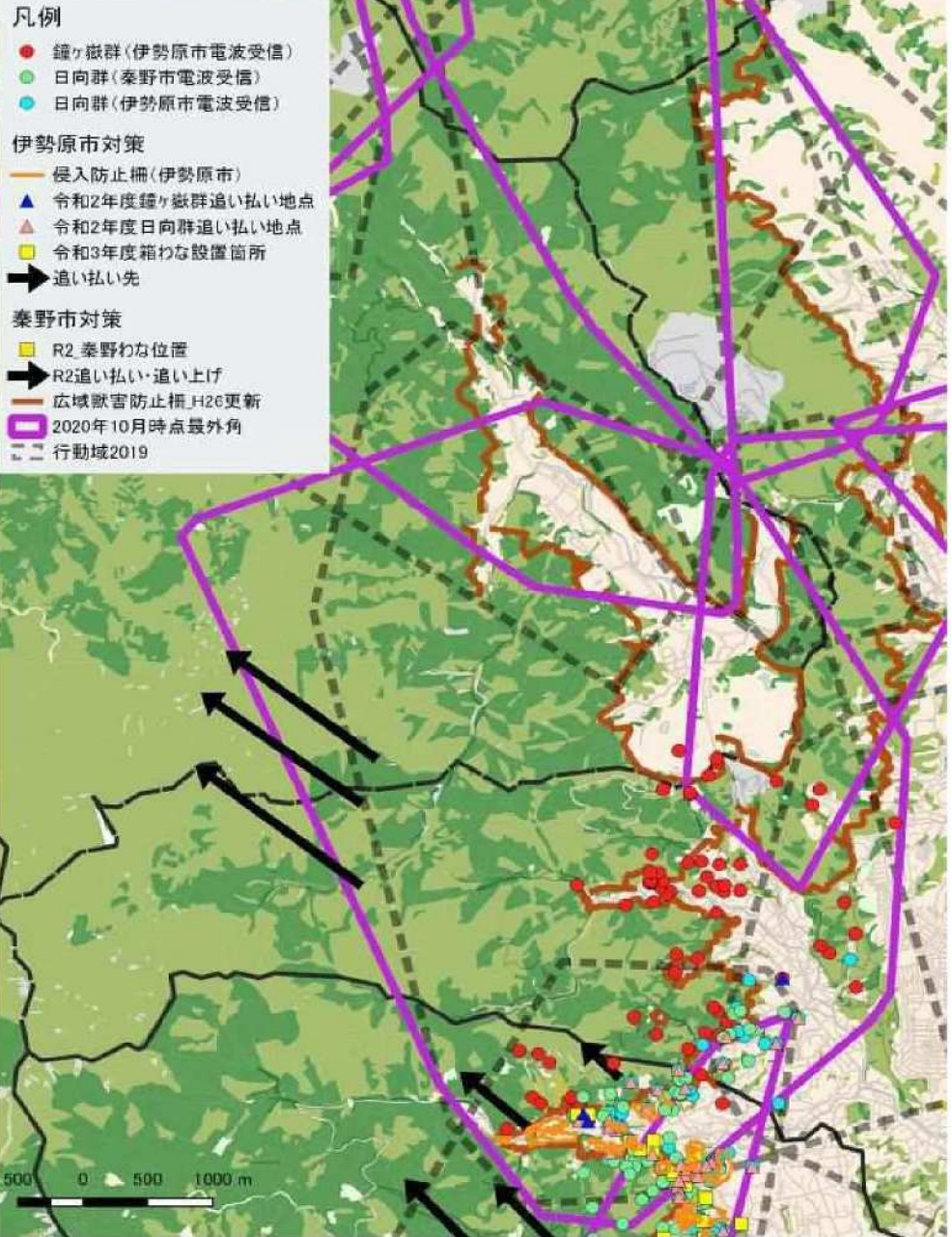


**鐘ヶ嶽群 日向群 管理事業実績図**

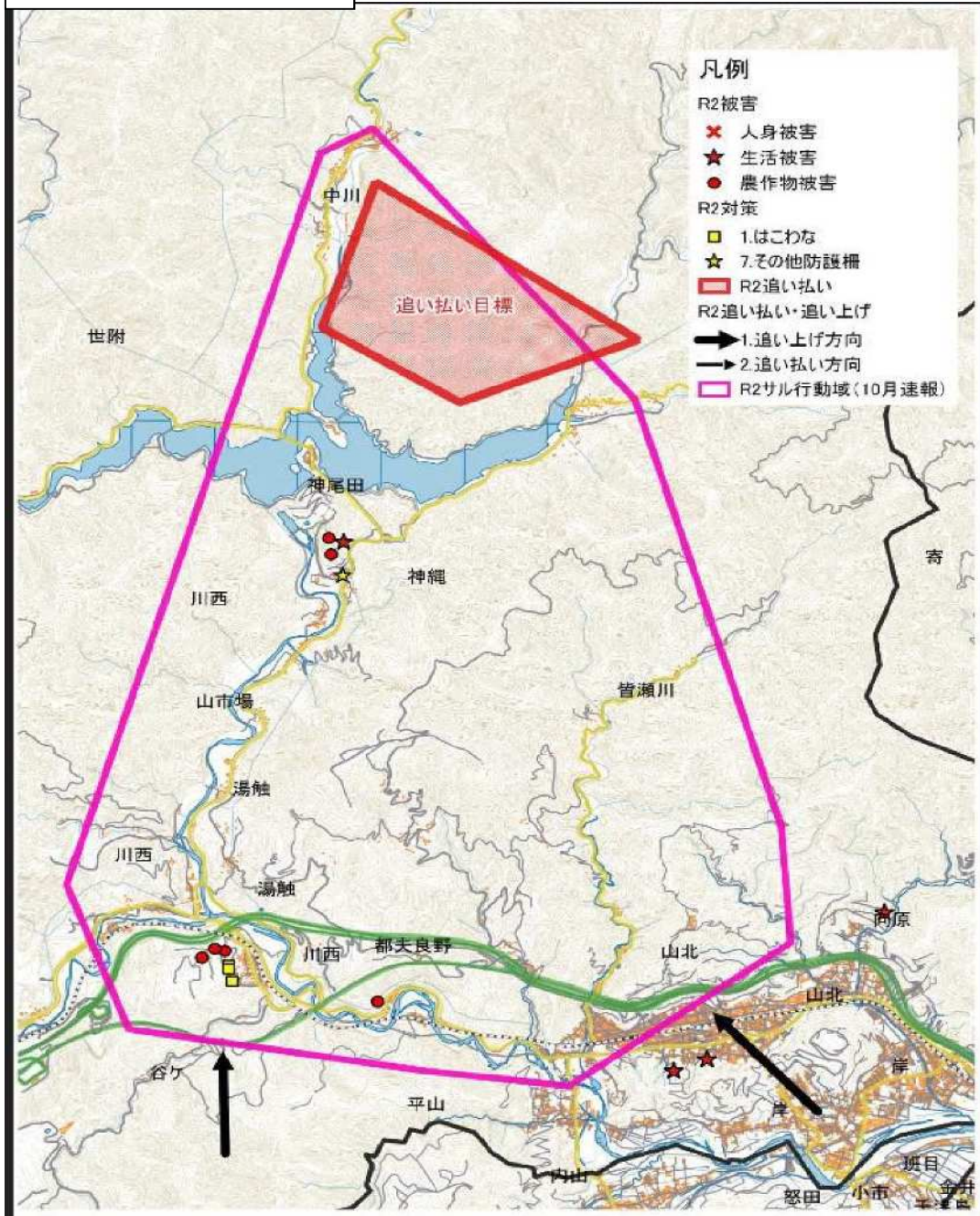




# 鐘ヶ嶽群 管理事業実績図

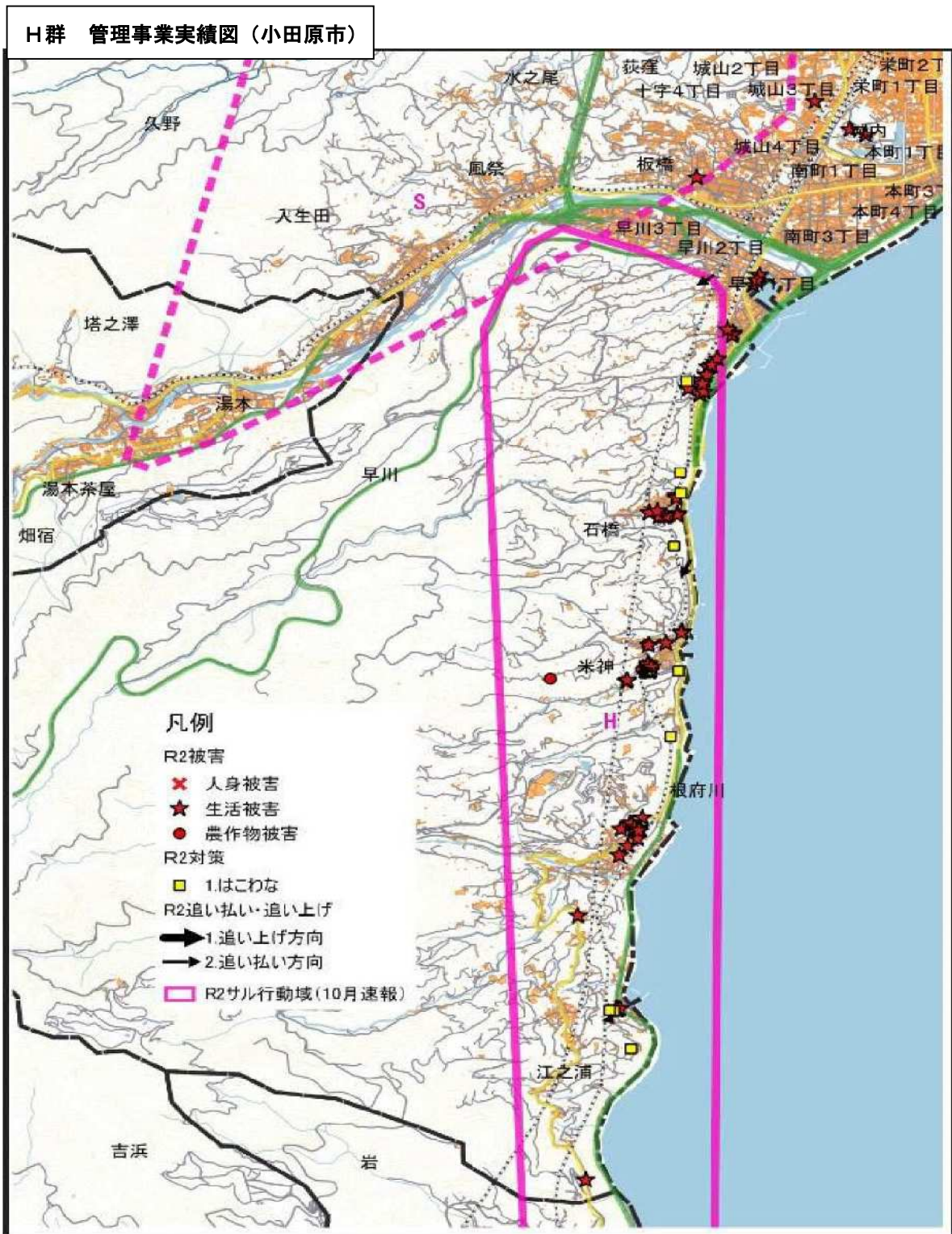


丹沢湖群 管理事業実績図

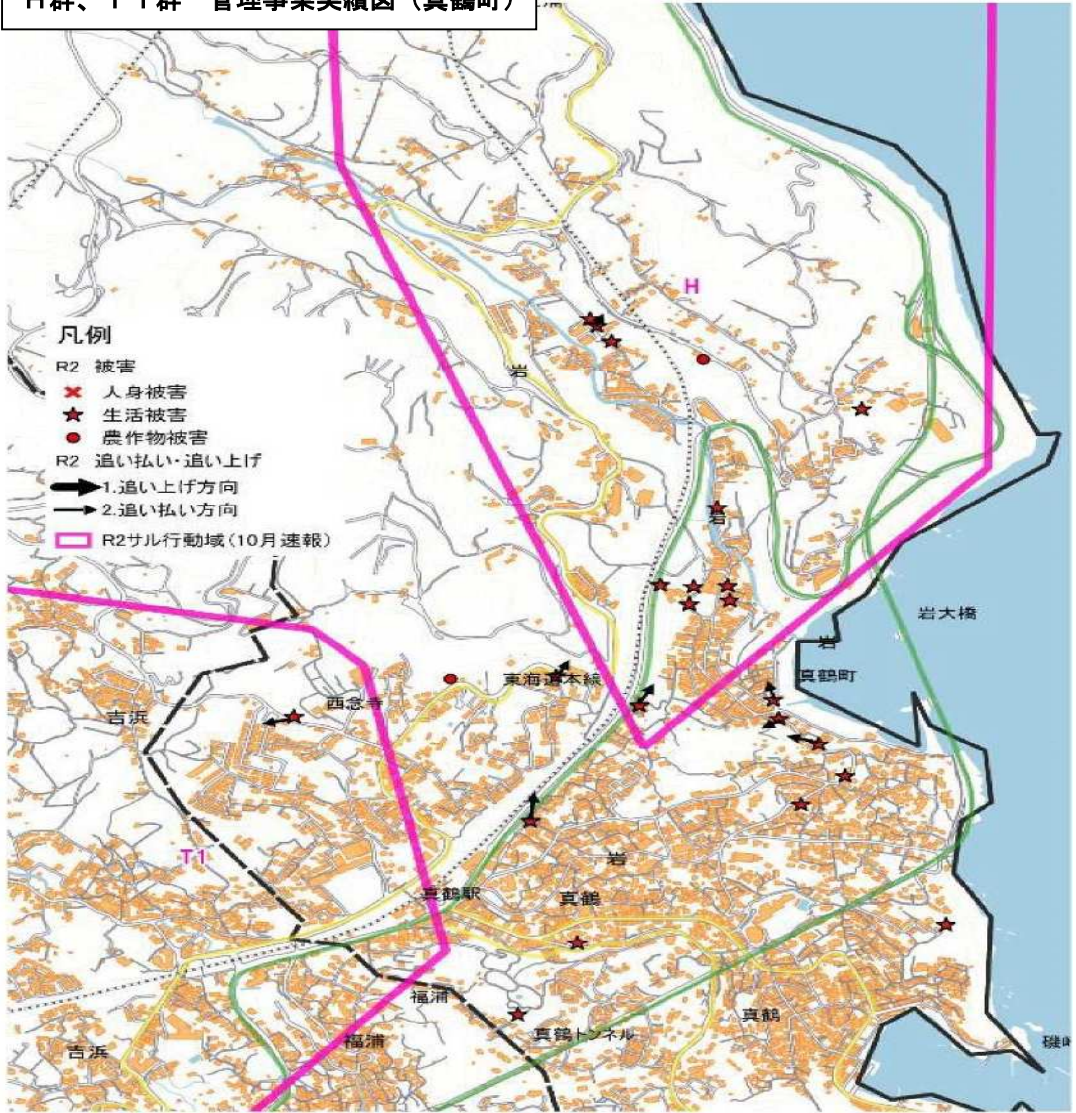




ウ 西湘地域個体群



H群、T1群 管理事業実績図（真鶴町）



T1群 管理事業実績図（湯河原町）

